

養父市でいちご 観光農園とスイーツを販売

【総合化事業計画 平成28年11月30日認定】

有限会社内山いちごの国

◆所在地
兵庫県養父市
◆代表
代表取締役
荒木奈見

◆取組内容
・ハウス7棟で、いちご狩りができる観光農園を経営。
・廃棄していたいちごの有効活用のため加工品を自社生産している。

き っ か け

- ◆やむを得ず廃棄していたいちごの有効活用と来園者から生いちご以外のお土産の要望があったため。
- ◆加工品を取り扱うことにより農園来園者の客単価が上がる。また、いちごの有効利用ができると考えたため。

左から 後継者の荒木真偉人さんと代表の荒木奈見さん

取 組 内 容

- ◆観光農園では、派手な電飾はしていないが、日照量不足を補う電球などを利用して「夜のいちご狩り」や犬と一緒にいちご狩りができる「ワンちゃんといちご狩り」などを行い来園者に喜んでもらっている。
- ◆6次産業化は観光農園を主力とすることで、少人数での営農・営業を可能としている。
- ◆当園の主役はいちごであり、主役の品質を落とさず、引き立たせることが大事で、最も気にしているところ。また、無理をせず自分のできる範囲を考えることも大事。



(上、右) ハウス内のいちご
(内山いちごの国提供)



左：いちごおり 右：いちご大福 (内山いちごの国提供)

今 後 の 展 望

- ◆農園の拡大は考えず、質の良いものを提供し、単価を上げ増益を考えている。
- ◆せっかく栽培したものなので、いちごや加工品の安売りはしたくない。逆により甘く、大きくするなど品質向上を図り、お客様に喜んでもらえるようにしたい。

2023年9月27日調査